

大阪府議会本会議(12・17)で大阪府立高槻南高等学校の廃校を前提とした

**「大阪府立高等学校等条例一部改正」(案)を与党賛成で可決**

**非教育的で不当な廃校決定に強く抗議一**

**今後も府教委などの責任を徹底的に追及します**

**高南応援団**

### **与党各派、高南応援団の請願を審議すら行わず「見なし不採択」に**

12月10日から開会されていた大阪府議会は、17日閉会の本会議において、高槻南高校の廃校を前提とした「大阪府立高等学校等条例一部改正」(案)を可決した。自民・民主・公明他の賛成、宮原府議(高槻選出)をはじめとする共産党全府議と社民党の小沢府議(高槻選出)は反対した。与党公明党の竹本府議(高槻選出)は、採決時議場から退室した。高南応援団からは、佐藤代表と加藤書記が傍聴した。

自民・民主・公明などの府議会与党各派は、高南応援団から提出されていた「廃校条例の削除修正」と「高槻市域における府立高校再編計画の全面的見直し」を求める請願(署名数2079)を審議すら行わず、条例可決に伴う「見なし不採択」とするという府民意思無視の暴挙を行った。府議会本会議に先立ち、12月9日、請願の紹介議員となった共産党府議団からは請願を教育文化常任委員会(公明党・竹本府議)において実質審議を行うようにとの要求が出されたが、自民・民主・公明などの府議会与党各派はこれを退けた。

本会議では、こういった与党各派の不当な審議拒否の態度を受け、共産党の小谷みずす府議が反対討論に立ち、高槻南高校などの廃校処分と再編統合方針の撤回を求めて以下の発言を行った。以下は、小谷議員の発言内容(高槻南高校等の関係部分)である。

#### **高南の運動 戦後の後期中等教育の希に見る成果を発揮した画期的なもの**

「次に、第十五号議案です。これは、府立島上高校と高槻南高校の統合、府立上神谷(にわだに)高校と美木多高校の統合などの案件ですが、周知の通り府立高校の統廃合問題は、廃校になる高校の生徒、父母、卒業生、地域住民、教職員など学校関係者はもとより、府民の強い反対の声が挙がっているものです。特に、今回の廃校対象校となっている高槻南高校では、昨年来、学校全体から強い存続要望の声が起こり、生徒たちも粘り強い運動を繰り広げてきました。その運動は、街頭での署名行動にとどまらず、授業やスポーツなど学校の教育活動全体の中で自ら学ぶ学校の素晴らしさを生徒や学校関係者が改めて認識して、そのことを以ってさらに学校存続への府民の共鳴・共感を広げるといふ、戦後の後期中等教育の希に見る成果を発揮したという点で画期的なものです。生徒たちの強い思いは、ついに彼らがこの問題で大阪弁護士会に人権救済の申し立てを行なったことに、痛切に表れています。府や府教委が強行する府立高校の統廃合方針と具体の計画には教育の論理が投げ捨てられ、採算の立たない施策は冷たく切り捨てるという営利企業の論理だけが先に立ち、まさに何の道理もありません。知事も府教委も、教育基本法や学校教育の理念を今こそ思い起こし、統廃合計画は撤回すべきであります。」

**請願署名は10日足らずの短期間に2079名分が寄せられました。**

**高槻市選出府議の本会議での態度 民主・大前、自民吉田両府議は廃校条例賛成。共産・宮原府議、社民・小沢府議は反対、公明・竹本府議は議場退出。**

**高南応援団では、府教育長宛てに「抗議電」を打ちました。**

**(抗議を集中しましょう!)**

**抗議先 540-8571 大阪市中央区大手前2丁目 大阪府教育委員会教育長/大阪府知**